

輝く命

HIKARE

～光れ～



新生会広報誌

vol.7

令和3年11月発行

<http://www.i-shinseikai.jp/>



安の滝



社会福祉法人 新生会

1 社会福祉法人新生会 法人本部事務局

〒028-3625
岩手県紫波郡矢巾町大字室岡第12地割128番地1
電話：019-611-0242 FAX：019-611-0252

2 障害者支援施設 「新生園」

〒028-3625
岩手県紫波郡矢巾町大字室岡第12地割125番地
電話：019-697-6831 FAX：019-697-8248

3 障害者支援施設 「第二新生園」

〒028-3617
岩手県紫波郡矢巾町大字太田第17地割54番地
電話：019-697-8011 FAX：019-697-8013

4 医療型障害児入所施設 「みちのく療育園」

〒028-3623
岩手県紫波郡矢巾町大字煙山第24地割1番地
電話：019-611-0600 FAX：019-611-0601

5 多機能型施設 「ワークセンターむろおか」

〒028-3625
岩手県紫波郡矢巾町大字室岡第12地割124番地
電話：019-697-6856 FAX：019-611-1666
エコレストランあいのの

〒028-3605
岩手県紫波郡矢巾町大字間野々第12地割50番地
電話：019-681-0304 FAX：019-681-0306

6 多機能型事業所 「あさあけの園」

〒028-3614
岩手県紫波郡矢巾町大字又兵衛新田第6地割17番地2
電話：019-697-6537 FAX：019-658-8538

7 相談支援事業所

「障害者地域生活支援センター しんせい」
電話：019-697-3300 FAX：019-601-2826
紫波地域障がい者基幹相談支援センター
電話：019-601-2805 FAX：019-601-2826
〒028-3614
岩手県紫波郡矢巾町大字又兵衛新田第6地割17番地2

8 共同生活援助事業所 「新生ホーム」

〒028-3625
岩手県紫波郡矢巾町大字室岡第12地割70番地9
電話：019-611-1199 FAX：019-601-2380

コロナ禍の施設運営

常務理事 佐々木 裕



新型コロナウイルス感染症によって、施設の運営が制限される状態が続いています。そのような中、令和2年度の福祉サービス費の収入においては、例年並みで維持できたことは幸いでした。

一方、面会・外泊の取りやめ、行事等の縮小によって利用者の方々そしてご家族のストレスは大きく、その解消を図る工夫が肝要です。また、役職員も厳しい行動制限をしておりますが、このことにつきましても地域の状況に適切に対応していくことが必要です。

多くの方々の協力によって施設内での感染がなく生活できていることに改めて感謝をし、今後も安全な環境のこの状況を継続できるように努めて参ります。

新しい生活様式を踏まえ、福祉サービスの充実を図り、「新生会の施設は安心だ」「新生会の施設を利用してよかった」と言ってもらえるよう一層取り組みを進めていきたいと思ひます。

コロナ禍 新生会の取組み

ワークセンターむろおか

外の空気を吸ってリフレッシュ

外出がままならない中でもストレスが溜まらないように、できる範囲で活動しています。

昼食後の散歩もそのうちの一つです。健康活動の一環として始めていますが、体を動かすことで午前中の作業の疲れもほぐれ、外の空気を吸ったり季節ごとの景色を眺めたり、会話を楽しみながら施設周辺をてくてく、てくてく。ちょっと汗ばむくらいが心地いい！気持ちも体もリセットされて午後の作業を頑張るぞ～！



みちのく療育園

3密を防ぐ

当施設においては、密接・密集・密閉の3つの「密」を避ける事は勿論、職員の意識徹底を図るべくWeb講習会などを開催し、周知徹底しています。

新生園

行事の工夫

毎週木曜日は「買い物ワゴン」の日、外出制限のため買い物に出かけられない利用者さんのために町内のショッピングストアやドラッグストアに運行しています。

久しぶりのお出かけ



第二新生園

コロナ禍でできる地域交流

地域交流の工夫

第二新生園では、コロナ禍の中で行える地域交流として、太田地域へ向けた広報『はばたき』の発行をスタートしました。地域の皆様にお会いできない日々が続いておりますが、今後も『はばたき』を通して地域の皆様に園の様子をお伝えしていきたいと思っております。



しんせい

理解啓発の工夫

集合形式で行っていた理解啓発。
今年度の第1回目は紫波町ふれあいフェスタ10/15・16の両日、パワーポイントで地域に発信。

あさあけの園

スポレクで気分転換

体を動かす行事は利用者さんに大人気です。
今回は「玉入れ」「しっぽとり」「風船リレー」
「ボール送り」
心地よい汗で気分転換ができました。



新生ホーム

ストレス解消

8月15日 帰省ができない利用者さんたちのストレス解消に、第二中島ホーム食堂で外に向かって水鉄砲を发射してお菓子を狙うゲームを計画、実施しました。

あいにくの天気のため、屋内から外に向けての水鉄砲でしたが、皆さん楽しまれていました。自分で落とすお菓子を手に入れうれしそうでした。



みちのく療育園祭開催!!

令和3年10月7日、みちのく療育園祭が盛大に開催されました。コロナ禍で、色々な制約を受ける中、職員が夜通し飾りつけの制作や準備をしました。当日は、施設長達がアンパンマンのキャラクターに扮し、各居室を訪問。利用者の皆様も大変喜んでいました。



楽しかった園祭!!みんなで「はい!ポーズ!!」



これから始まるよ～～



イエ～イ 始まるよ～



アンパンマンたちと アンパンチ!!

日常の1コマ

創作活動!!



10月のハロウィンのお面作りです。

ボウリング!!



3人で頑張るぞ!!
ストライク!

食欲の秋を満喫！

ハンバーガーパーティー

～遊生会行事毎月実施で頑張っています(^.^)

9月25日にハンバーガーパーティーを実施しました。特大のホーム特製ハンバーガーとポテトと唐揚げを頼ばり、皆さん笑顔になっていました。さあ、来月の遊生会はなにがあるかな？



活動報告

障害者地域生活支援センター しんせい

今年度の事業として、紫波地域障がい者基幹相談支援センターにおいて4月に立ち上げました、『紫波地域医療的ケア児等ワーキンググループ』の取り組みがあります。

ここ紫波地域は、岩手医科大学附属病院、岩手県立療育センターをはじめ、当法人のみちのく療育園と、県内有数の医療の拠点となっていることもあってか、常時医療的ケアを必要とするお子さんが矢巾町に10名、紫波町に10名（令和3年9月末現在）生活されており、これは他地域と比較しても高い比率であることから、今後ワーキンググループでの取り組みが重要になると考えられます。

この取り組みは、医療的ケアを必要とする子どもとご家族が安心して暮らすことができる地域を作ることが目標となります。それには、医療的ケア児等について理解を深め、医療や福祉、学校、行政等の多職種が連携を取るチーム作りが必要になります。そして、ご家族の意見をお聞きし、支援者が同じ方向を向くことが大切になります。

当センターをはじめ、みちのく療育園の大力医療的ケア児等コーディネーター、矢巾町、紫波町と一緒に事務局を運営し、多職種の意見交換をする場を定期的に作りながら支援体制を整え、紫波地域で医療的ケアを必要とする子どもとご家族が安心して暮らすことができる町づくりに関わっていきたいと思います。



多機能型事業所 あさあけの園

短い時間でも外出を満喫

事業所毎のコースに分かれ、久しぶりの外出。もちろん感染防止対策ができるよう工夫しました。

就労継続支援B型「花巻満喫コース」

貸切の会場での食事はいつも以上に美味しかったです(^ ^)食後は童話村で思い思いの時間を過ごしました。



生活介護「小岩井農場へ行こう」

テラス席での昼食の後は、お土産コーナーで買い物を楽しみました。最後は…小岩井農場といえば「ソフトクリームジェラート」甘いものは別腹ですね〜♡



障害者支援施設 新生園

新生園生活介護です。今日も元気にラグマット編みやウェス作りなどの作業を行っています。さて、今回「ふくしま祭り・紫波町ふれあいフェスタ2021」の展示作品部門に、利用者の高橋誠一さんが制作したオリジナルTシャツを出展したところ、「ふれあい賞」を受賞いたしました。10月15日には紫波のオガールで表彰式が行われました。ご利用者、職員のみんで受賞を喜んでます。芸術の秋を満喫している新生園でした。



結 ～コロナ禍でも心は繋がっているよ!～

今年の第二新生園祭はコロナ禍のため、園の中庭で利用者様を中心とした新たな形での園祭を行いました。テーマは『結』コロナ禍で会えない日々が続いていますが、心は繋がっている・そんな思いを込めて開催しました。感染予防のため、入所と通所の利用者様は離れた場所で観覧しましたが、ステージや発表場所が双方から見える場所に設置し、一体感を持って楽しめるように工夫しました。雲一つない快晴の下、心をついに皆さん園祭を楽しみました。

利用者の主張大会



青空に向かって叫べー!



各課おみこし披露



わっしょい! わっしょい!

サイコロビンゴ大会



ビンゴ! 金メダル!



何が出るかな?



多機能型施設 ワークセンターむろおか

ひとつのフロアに就労B型、移行支援、生活介護と、3事業の利用者の皆様と日々過ごしており、終始賑やかなワークセンターむろおかです。

今回は、生活介護事業で毎月行う余暇支援の一部を紹介します。季節にあった作品制作や、調理実習、ドライブを実施しています。皆さんも「またやりたい」、「次はこれをやりたいね」と大変意欲的に取り組まれています。

藍染め制作



真っ白な生地から濃淡様々な藍色へ。絞って模様入りも。色鮮やかなTシャツや手ぬぐいなどができました。

ビーズ通し作業



手指の訓練にもなります



ピザ体験

レストランあいなので作りました。 お菓子食べちゃうぞ～

ハロウィン制作



みんな揃ってダンシング!



新生会では、勤続20年の職員に対して、永年勤続表彰を行っています。

例年、役職員交流会で表彰式を執り行っておりましたが、コロナ禍のため、昨年同様、第4回理事会に合わせ執り行いました。

【被表彰者】「」内は表彰式での挨拶を抜粋したものです。

▶ **みちのく療育園 伊東宗行名誉園長**

「みちのく療育園開園準備から携わり、医師やスタッフの確保が遅れ、開園を一カ月延ばしてしまうようなスタートでしたが、無事に20年を迎えることができました。あつという間のこのように感じます。今年は施設長も変わり、みちのく療育園もリメイクされていくと思います。今後もできる限り、新生会を盛り上げていきたいと思っています。」

▶ **みちのく療育園 沼田明子主任保育士兼生活支援員**

「入職間もないころは戸惑うことも多かったのですが、学ぶ機会をたくさんいただき、今に至ります。今後もよりよい支援ができるように頑張っていきたいと思っています。」

▶ **新生園 小笠原めぐみ書記兼生活支援員**

「ワクワクしながら入職の日を迎えたことを今でも懐かしく思います。初心を忘れず、今後も業務に励んでいき



いと思います。」

伊東名誉園長、小笠原書記にはみちのく療育園開園準備から、沼田主任には開園3年後から、みちのく療育園の運営にご尽力いただき、同園は今年20周年を無事迎えることができました。(コロナ禍のため、記念行事は来年以降に延期)

現在でも、それぞれ所属している現場で、新生会の理念の実践、後輩職員の育成に力を発揮しております。

被表彰者の皆さん、おめでとうございます。



医療法人泰三会 徳永整形外科様から、ベッド25台とオムニマット25枚をご寄付いただきました。

10月6日、阿部理事長と佐々木常務理事が訪問し、徳永理事長様へ感謝状と記念品を贈呈させていただきました。



HIKARE ~光れ~ インフォメーション

新生園印刷科

10月1日から年賀状の予約を開始しています。1枚からでもご注文承ります。デザインも豊富にありますし、オリジナルの年賀状も受け付けております。詳しい事は印刷科までお問い合わせ下さい。



第二新生園



エコレストランあいのの

クリスマス オードブル

12/23(木)、12/24(金)、12/25(土)の3日間、オードブルを販売いたします。

4~5人前 3,000円(税込) 予約締切:12/13月

お気軽にお問合せください TEL 019-681-0304 矢巾町間野々12-50

café あさあけ

ロールケーキ

ふわふわの生地に、クリームがたっぷり！一本一本、丁寧に巻いています。

(イチゴ・ゆず・ブルーベリー・コーヒー)
1カット ¥200
ハーフ ¥1,100
1本 ¥2,000



当番 〇月△日 せいちゃん

編集後記

すっかり寒くなってきましたが、皆様は元気でお過ごしでしょうか？遠くから飛んでくるハクチョウたちをあらこちらの田んぼで見かけます。若い鳥を囲むように守りながら飛んでくる群れの守りは素晴らしいと、毎年空を見上げながら思うものです。元気な鳥たちに負けないように、今年も残る1か月と少し元気に過ごせますように。来月は年の瀬ですね。コロナに振り回された今年ももう少しです。来年こそはコロナが落ち着くことを願うばかりです。